

さくら教室だより

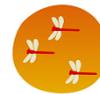
カラー版は九小のHPで公開しています。



令和6年10月15日
東久留米市立第九小学校
校長 山本 真美 枝
特別支援教室 担任



前期が終わります



今年も異常に暑かった夏がやっと終わり、秋の気配を感じる季節がやってきました。東久留米市内の学校は3学期制をとっていますが、特別支援教室の区切りは前期と後期の2期制となっています。10月に前期の指導が終わり、個別の指導計画に評価が入ります。個別の指導計画の内容は、11月からの面談でお話しさせていただきます。



【第2回 個人面談のお知らせ】

11月11日(月)~11月28日(木)の日程で第2回さくら教室個人面談を実施します。先日配布した日程調整の用紙に面談可能な日程を記入していただき、期日までにご返答ください。また、面談可能な日程は複数挙げていただきますと、他の保護者の方たちとの調整もしやすいため、お忙しいとは存じますが、ご協力よろしくをお願いします。

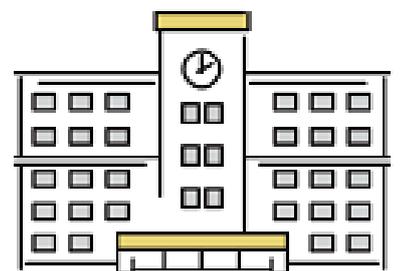
面談の内容としましては、さくら教室での様子、学級での様子、今後の退室・継続について等になりますが、限られた時間ですので、質問等がございましたら、事前にアンケート用紙にご記入のほどお願いいたします。



【連携型個別指導計画について】

青ファイルの裏表紙に貼ってある前期の連携型個別指導計画は、面談後、後期の個別指導計画にこちらで貼り替えますので、そのままにしておいてください。

連携型個別指導計画は、面談にお越しになれなかった保護者の方にも、ぜひご家庭でお見せください。



【さくら教室のちょこっとコラム】



○連携型個別指導計画の目標について

連携型個別指導計画の【目標】は、原則として入室時の課題に即して具体的に立てられます。昨今の東京都の特別支援教室の方針に従い、1年間の指導を通じて入室時の課題を改善し、退室するというサイクルを定着させることがねらいのためです。もちろん、退室したあとに新たな課題が見られる場合は、再入室も可能です。

例えば、こんな【目標】だと どうでしょう？

友だちとの適切な人間関係を築き、感情をコントロールし、一般的なコミュニケーションをとることができる。



一見すると、とても立派なめあてに思えますが、これだと抽象的すぎて、実際にどうなったらかいのか分かりません。【適切な人間関係】？ 【一般的なコミュニケーション】？ どういうことでしょうか。また、【感情をコントロール】は大人でも難しすぎる目標です。これを達成するのに、1年で本当にできるのか……。

【目標】とは、退室時の具体的なイメージです。そのため、できるだけ見取れる内容にするのが望ましいです。例えば、【苦手なことに直面したとき、困っていますと周囲にサポートを求めることができる】や【イライラしたときにクールダウンを申し出るなど、自分で気持ちを落ち着かせる方法が分かる】といった感じです。

ご家庭でも、ぜひお子様の退室時の具体的な姿を考えてみてください。

【教材紹介】

ジェンガやアイロンビーズなどの指先を使うおもちゃは、①微細運動（細かいことをする運動、手先の器用さ）②集中力を育てることをめあてにした教材として活用しています。指先の器用さは、はさみ・のり、ノートを書くなど様々な場面で必要となる基礎的な力ですので、しっかり育てていきます。

